

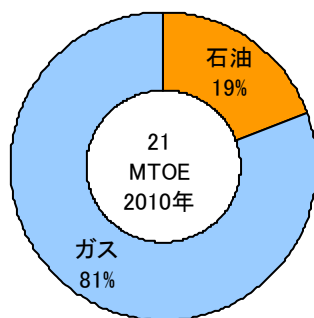
2-17 トルクメニスタン

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー総供給量 (2010年) : 21 百万 TOE (日本の 0.05 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2010年) : 4.23 TOE (同 1.17 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 217%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 52.68 百万 CO₂ 換算 ton (同 4.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 10.45 CO₂ 換算 ton (同 116.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 7.6 年、天然ガス 100 年以上

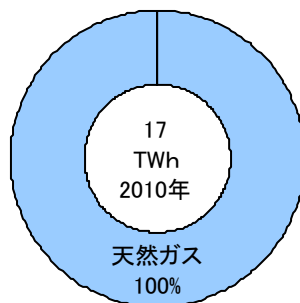
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Turkmenistan

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Turkmenistan

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- トルクメニスタンでは「石油・ガス産業・鉱物資源省」(Ministry of Oil and Gas Industry and Mineral Resources) が同国の石油および天然ガス産業を管轄している。
- 2007年3月には、石油・天然ガス田の開発管理、外資との資源開発契約を所管する炭化水素資源利用管理庁 (State Agency for Management and Use of Hydrocarbon Resources) が設立された。2012年5月5日付け大統領令により、同庁の権限が大幅に強化された。
- 2012年7月6日付け大統領令により、エネルギー・産業省が解体され、エネルギー省 (Ministry of Energy) と産業省 (Ministry of Industry) が新設された。産業省は国内約70社を管轄し、外資導入促進を目指す。エネルギー省の管轄は電力分野のみ。

(2) 基本政策

- 1991年末のソ連解体に伴う独立以来、国内に埋蔵する原油および天然ガスを開発、生産して輸出することで外貨を獲得することが基本政策となっている。
- 天然ガスの生産量の維持・増加、輸出量増加・輸送路と輸出先の多様化がトルクメニスタンにとって重要な課題である。前大統領が多国間外交を忌避していたのに対し、新大統領は国内の石油・天然ガスの開発に外資導入方針に転換するなど、エネルギー開発において海外資本に解放的な姿勢を見せている。また、中国向け天然ガス P/L やイラン向け天然ガス P/L 新設・輸送能力増強により、天然ガス輸出先を拡大している。
- Berdimuhammedov 新大統領就任後はトルクメニスタンの天然ガス輸出拡大政策は一貫しており、買い手がトルクメニスタン国境までパイプラインを建設すれば、売買契約交渉に応じる方針。
- 欧州向け天然ガス輸出を実現すべく、トルクメニスタン国内に東西 P/L を建設中。同 P/L を、現在構想中のカスピ海横断海底 P/L に接続して、欧州向け天然ガス輸出を目指す。

(3) 最近の動向

- 中国向けには2012年6月、2020年までに天然ガス650Bcm/年を供給することで合意。また、同国からアフガン経由、パキスタン・インド向け天然ガス P/L 建設構想も2012年5月、関係4カ国 (トルクメニスタン・アフガン・パキスタン・インド) にて基本合意済み (通称 TAPI パイプライン)。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- わが国とトルクメニスタンとの間ではエネルギー貿易は行われていない。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	21 百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	4.23 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	1.59 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	217 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	52.68 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	10.45 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	— %
	石油	20 %
	ガス	81 %
	原子力	— %
	水力	— %
	再生可能エネルギー等	— %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-117 %
(9)	石油の輸入依存度	-125 %
(10)	輸入原油の中東依存度	N/A %
(11)	原油輸入先	
	第 1 位	N/A
	第 2 位	N/A
	第 3 位	N/A

(出所) (1)～(4) および (7)～(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition、

(5)～(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012 Edition

(10)～(11) は Blackwell, World Oil Trade, September 2010